

開 催 記 録

(審査委員会)

1	日 時	平成 28 年 12 月 19 日 (月) 13:30 ~14:50
2	場 所	県庁 10 階 1008 会議室
3	協議事項	(1) 平成 27 年度運用実績について (2) 平成 28 年度運用状況について
4	協議結果	<p>福井県庁環境マネジメントシステムの運用について、以下のような議論があった。</p> <p>(1) 平成 27 年度運用実績について</p> <ul style="list-style-type: none">可燃ごみ廃棄量の算出について、目分量のようなあいまいなやり方ではなく、客観的でより正確な算出方法にするとよい。水道使用量の増加については漏水が原因とのことだが、福井大学でも配管の検査と修理を行ったところ、節水対策を行わなくても 3 割ほど水道使用量が減少した。県でも特に建設時期の古いものについては、あらためて配管の検査をしてはどうか。各所属の実績について、前年度との比較により評価を行っているが、高校なら高校、土木事務所なら土木事務所と業務や活動の形態が似ているジャンルに分けて実績を確認すると、傾向が見えてくるのではないか。空調について動力源が重油・灯油・電気と複数あるので、同じ物差しで評価できるように省エネ法の報告対象施設だけでも原油換算をしてみてもどうか。指定管理者施設について、今後の提案書の中に省エネに関する項目を含めてはどうか。 <p>(2) 平成 28 年度運用状況について</p> <ul style="list-style-type: none">エネルギー使用量を減らすにあたってのハード面対策として、LED 照明の導入や高効率機器の導入、トップランナー基準を満たす機器の導入といった具体的な計画や目標を定めるとよい。グリーン購入ネットワークが公表している全地方公共団体のグリーン購入の取組み度調査において、取組み度トップの 13 公共団体に福井県が入っているので、こういった結果も PR してはどうか。